

## 認知症当事者に生きずらさ

- 1 認知症になると、何か問題があるように捕らえられ、周囲にはなはずらい。  
意識の問題 認知症でも、できないことがたくさんあるが、できることがたくさんある、認知症の人は、普通の人である、とゆう認識が広まれば、話やすくなる。
- 2 認知症と公表すると、何もできない、何もわからないいう偏見があるので、公表はずらい。  
認知症の人は、できないことが多いができることもたくさんあることを示すことが、私に使命だ。認知症への偏見がなくなれば、公表し易くなる。多くの元気な認知症当事者が現れることを望む。
- 3 認知症と公表すると、友達が離れていくので公表はずらい。  
去る者は追わず、来るものは、拒まず。の精神でいく。きっと良き理解者が現れると信じる
- 4 周りに、認知症当事者がいないので、相談する人がいない。  
日本認知症ワーキンググループに参加して、想いを聞いてもらう。
- 5 これからどうなるか、心配だ。  
なるようにしかならない。問題が起こったら、その時考えればよい。とりこしくろうはしない。
- 6 病気の進行を遅くする、方法をしりたい。  
完治する方法はないが、おくらせるくすりがあり。歩くことは、健康に良い。好きなことをして暮らす。
- 7 こうすれば、楽に暮らせるという方法を知りたい。  
楽天てきなかんがえ、好きなことで来る意欲があること感謝していきる。
- 8 今の心境を同じ、病気を持った、当事者と話したい。  
3つの会@web. 投稿して話を聞きともらう。
- 9 こんなことに困っているので、解決策が欲しい。  
3つの会@web.に投稿 して回答を得る。
- 10 これからの生きる指針が欲しい。  
生きる指針201808

1. 人の評価と、自分の価値は無関係。人の評価に惑わされない。
2. 自分の価値を、生産性、能力できめない。  
人間は神様が作られた、作品なので、何ができなくとも、自分は尊い存在である。

3. 試練の意味は人間にはわからないが神様のご計画があるのでどんな試練にあっても希望すてない。
4. どんなに仲が良くても、別人格なので将来、意見の食い違う可能性あると言う前提で付き合う。
5. 人の意見に振り回されずに、確固たる自己を持つ。
6. 自分の課題と、人の課題があるので、人の課題には踏み込まないが、自分の課題にも、人に踏み来させない。
7. 人生には困難がつきもの思いどおり行かないのが人生。
8. 生き方いつでも変えらる、柔軟に人生を生きる。
9. 一つの道が閉ざされたる、また新しい道が開かれる。
10. 試練は、人生を豊かにする。試練には、必ず脱出の道が用意されている。